

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズガーデンきらら館		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	のびのびと体を動かすことのできる環境が整っている。	・訓練室やホール、芝生広場など、活動内容によって使い分けられている。 ・常に清潔な環境となるように清掃等を心掛け、安全に配慮し点検等を行っている。	・大型遊具を幅広い年齢の子どもたちが運動遊びに取り入れることができるよう、活用方法を検討していく。
2	一人一人の現状に合わせた支援の提供を行っている。	・年齢ごとではなく、子どもたちの段階に合わせたグループ編成を行っている。 ・小集団での活動に加え、個別療育の時間を設けている。	・同法人の療育事業所とも連携し、季節の行事等、活動内容によっては、全グループ合同など、少し人数の多い環境で過ごす時間も設けていく。
3	保護者と活動の様子等の情報共有を密に行っている。	・送迎時や連絡アプリコドモンを活用し、活動の様子をお伝えしている。 ・コドモンでの連絡の際には、活動の様子をイメージしやすいよう写真を添付するようにしている。	・SNS(ブログ、Instagram)の更新頻度が下がっていると保護者の方よりご意見をいただいたため、ストーリー機能も活用し、活動の様子をタイムリーに配信できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や連携が不十分である。	・地域に向けて発信する機会が少ない。	・法人のイベント時に、地域の方にもお越しいただけるよう発信していく。 ・児童館を利用したり、法人内の保育園と一緒に活動を行ったりする機会を設ける。
2	保護者同士の交流の場が少ない。	・療育参観週間を年2回実施し、交流の場を設けたが、参加人数が少なく、参加者にも偏りが見られた。また、1週間開放することで参加も分散され、交流が図りにくかった。	・親子活動など、保護者が参加したいと思えるような活動の企画を行う。 ・昨年度のように、親子活動後に茶話会の時間を設けるなど、集まって話をするのできる機会を設定する。
3	保護者に対し、BCPや非常災害対策計画等の周知が不十分である。	・BCPや非常災害対策計画等を作成し、誰でも閲覧できるように玄関に置いているが、評価票の中で、「わからない」という回答が多く、周知が不十分であると感じた。	・面談時に口頭で説明を行うとともに、連絡アプリコドモンを使用し、周知を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズガーデンきらら館

公表日

令和8年 2月 26日

利用児童数

14名

回収数

14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0	・個室から広い芝生広場まであり、十分に身体を動かすことができている。 ・屋内、屋外ともに広い。	・引き続き、子どもの様子や活動内容に 応じて、環境構成への配慮を行っていき ます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	2	・たくさんの先生に見ただけで、安 心して利用することができている。	・基準を満たした職員数を配置しており ます。 ・年度初めの行事の際に、職員数や専門 性についての情報を伝えるようにして おり、今後も、年度初めや保護者会の場、 個別で分かりやすく伝えていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0	・目で見て分かりやすい工夫がされてい る。	・子どもの段階を考慮した上で、行動の しやすさや分かりやすさにつながるよ う、パーテーションで環境を区切った り、視覚支援を取り入れたりと、個々の 段階や状況に適した配慮を行ってあり ます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0	・掃除が行き届いており、とてもきれ い。	・清潔な空間で安心して過ごすことが できるよう、引き続き配慮を行っていき ます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12	2	0	0	・子どもの様子をしっかりと見てくだ さっており、その時に応じた対応をして くださっていると思う。 ・いつも親身に寄り添ってもらっている と思う。 ・個々に合わせて対応してもらえてい る。 ・運動、机上活動以外にもSSTなど様 々な活動に取り組むことができている。 ・もっと公平に児童を見てほしい。理不 尽なことがある。	・日々、職員研修や活動の振り返りなど を通して学びを深めております。さら に専門性をもって支援を行う事ができ るよう、引き続き取り組んでいきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13	1	0	0		・支援プログラムについて、ホームペ ージにて公表しておりますが、保護者等 でも内容について説明を行っていきま す。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	14	0	0	0	・ニーズをくみ取ってもらっている。 ・子どもと保護者のこと、どちらもしっ かりと聞いた上で計画を立ててくれ ている。	・アセスメントを実施し、保護者の方と 共通理解を図りながら、ニーズや課題の 分析、児童発達支援計画の作成を行っ ております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	14	0	0	0		・児童発達支援ガイドラインに沿っ て、引き続き、個々の発達段階や課 題、目標に応じた支援内容を設定し ていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		・引き続き、支援内容や子どもの現状等 について、分かりやすく伝えるよう、丁 寧に説明を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	14	0	0	0	・毎月、様々な活動を行ってくれてい る。	・子どもたちが楽しみながら、様々な 経験、体験を積み重ねることができ るよう、全職員で活動内容を考え、 実施しております。また、引き続き、 個々の段階に合った活動内容や対応を 行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	11	0	0	3	・子ども食堂で、保育園の時の友達にも 会うことができ、楽しみにしている。 ・子ども食堂で、様々な地域のお友達と 交流している。 ・もっと増えても良いと思う。	・子ども食堂やふれあい館での活動を通 し、地域のお子様と一緒に活動する機 会を設けております。引き続きその機会 を設けるとともに、交流の場を増やし ていけたらと思います。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0	・見学時や契約時に運営規定、活動内容、利用料等について説明を行っております。丁寧に説明するとともに、不明な点については、その都度ご質問頂き、回答していきます。また、変更点があった際は迅速に伝達するようにしていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0	・個別支援計画について、ガイドラインの提示と共に、支援内容や目標等について具体的に説明を行い、同意を得た上で支援を実施しております。共通理解の基、支援を実施することができるように心掛けて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	0	1	・保護者会や療育参観で他の保護者の方と話す機会が良好い。 ・引き続き個々の特性の理解やかかわり方の学びにつながるよう家族支援を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0	・送迎時にいつも活動の様子を伝えて下さるので、安心できる。 ・送迎時にその日の様子を細かく教えてくれる。 ・送迎時やコドモンなどで日々の活動の様子を丁寧に伝えるよう心掛けております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0	・面談の際に相談することができている。 ・送迎時に気になることを相談させていただいた後、改めて話をする時間を設けてもらい、助かっている。 ・面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、助言を行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0	・保護者の方の思いに寄り添い、お子様にとつての最善を一緒に考えて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	2	1	1	・年に数回保護者が集まる機会がある。貴重な時間をいただけて嬉しい。 ・今年度は親子活動や療育参観を開催し保護者同士の交流を図ってきましたが、参加者が少ない状況です。参加したいと思えるような行事を企画し、きょうだい児も楽しむことができるよう工夫していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	0	・相談等があった際は、迅速に職員間で話し合い、その都度丁寧に対応できるよう、心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0	・送迎時や面談、コドモン等を通して、子どもの様子や支援内容等の情報伝達ができるよう、配慮しております。送迎時や行事の中で直接お話しする機会も増やしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	0	・ブログやInstagramで活動の様子を見ることができている。 ・児童発達で利用していた時と比べると、少なくなっていると感じる。 ・引き続き、Instagramやブログなども活用し、子どもたちの活動の様子が伝わるよう工夫していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0	・個人情報の取扱いについて、十分な配慮を行っていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	0	・契約時の説明に加え、マニュアルがいつでも閲覧できるよう玄関に置いてあることも周知していきます。 ・訓練実施の方法について説明や伝達を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	0	・定期的に避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0	・子どもたちが、安心して過ごせるよう、毎月の施設点検や車両点検、不審者対応訓練の実施を行っております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	0	・小さな怪我もしっかりと知らせてくれる。 ・引き続き、怪我等が発生した際には、適切に処置を行い、保護者に速やかに状況説明の連絡を行うよう徹底していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	・先生やお友達が大好きです。 ・行き渋ることがなく、安心している。 ・子どもたちが安心して通うことができるよう、子どもたちの思いに寄り添い、できた！を積み重ねられるような支援を心掛けていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	・やむを得ず欠席する時には、「行きたかったなあ。」と言っている。 ・活動予定表を自分で見て、活動を楽しみにしている。 ・「今日きらら館？やったー！」と通所を楽しみにしている。 ・引き続き子どもたちが楽しいと感じられる充実した支援となるよう、個々の段階や気持ちを考慮し、活動を実施していきます。

29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none">・様々な活動を通して、得意不得意なことも理解しながら、その日の体調や気分に合わせて支援してくださっている。・いつもありがとうございます。大変満足です。	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちの経験、体験、学びにつながるよう、発達段階に沿って支援を実施し、達成感や満足感につながるよう取り組んでいきます。
----	------------------	----	---	---	---	--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズガーデンきらら館			公表日		令和8年2月26日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		訓練室のスペースに適した定員と部屋割りでの支援に取り組むことができている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		その日の人数や状況に応じて配置を変更しながら支援に入っている。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		その日のスケジュールを示したり、時計に印をつけたりと視覚支援を用いた環境作りを行っている。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日の清掃活動と必要最低限の道具を置くことで子どもたちが広く活動の場を確保できるように工夫を行っている。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個別の部屋ではないが、スペースを確保することはできている。また、子どもたちの様子に合わせて、過ごしやすい環境設定（部屋分けや身体にあった机、椅子の準備）を行うことができている。	子どもたち自身でクールダウンのために自ら使用する空間が確保されておらず、今後検討が必要である。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		改善の検討を要するものは職員間でケース検討会議を実施しており、全職員が参加することで幅広い視点で検討が行われている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		事業所評価表を用いて保護者の意見を聞く場を取り入れており、意見が合ったものについては全職員に周知されている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		毎朝のミーティング実施により、職員の意見を把握し、改善に向けての話し合いが行われている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		第三者からの意見を聞く場が設けられておらず、今後検討が必要である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		○		職員は積極的に外部の研修に参加する機会があり、全職員に周知を行うことで支援の質の向上に取り組んでいる。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		事業所のホームページにて支援プログラムが公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		アセスメント時の面談では子どもの様子を共有した上で目標の検討が行われており、保護者のニーズを踏まえた計画が作成されている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		計画の作成時には支援者会議が行われ、職員全員で情報共有を図りながら計画の検討が行われている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		個別支援計画は全職員に周知されており、個別の課題に沿った対応が行われている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		個別の課題に沿った独自のアセスメントは行う機会が少なく、今後検討が必要である。	児童発達では、遠城寺式乳幼児発達検査を用いてアセスメントを行っているが、放課後等デイサービスは使用していない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		計画作成にはそれぞれの項目ごとに保護者からのニーズに基づいた支援内容が設定されている。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	活動案は全職員で意見を出し合って検討、改善されており、必要に応じてシミュレーションを行うことで段階に適した内容を検討することができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	適宜新しいプログラムを取り入れるよう、職員が積極的に情報収集を行い、子どもたちの課題に沿ったプログラムが提案されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	主な活動を集団の運動遊びで取り入れているが、課題によって個別で声掛けや対応を行うことができている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	活動前には担当の振り分けやシミュレーションを行うことができている。また、必要に応じて職員間で連携した対応を行うことも多い。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動プログラムの作成時に共有を行うことは多いが、活動の直後に打ち合わせを行うことは少ない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	活動の様子や支援については毎日記録を取ることが徹底されており、内容によっては支援について職員間で改善策を検討することもある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的なモニタリング面談の日程が決められており、その時の状況に応じた支援内容の見直しが行われている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	活動プログラムはガイドラインの内容に偏りがないように月間で作成されている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	ソーシャルスキルトレーニングの活動を通して子どもが主体的に参加する機会を設けている。活動後の時間やおやつを食べる際は、好きなものを自分で選ぶことができるなどの工夫が行われている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当者会議には、支援を担当している職員も同席しており、子どもたちの現状を理解した職員が参加できるよう配慮している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係する教育機関とは支援に必要な情報について共有するなど連携が図られている感じる。また、かかりつけ医や近隣医療機関はリスト化されており、迅速な対応が取れるようになっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	下校時刻や送迎位置、子どもの直近の様子等、必要に応じて情報共有を行うことができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学前より事業所を利用していた際には積極的に情報の共有を行うことができているが、新規利用者についてはそれまでの様子について情報を得る機会が少ない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	利用終了後の移行先が決定されている際には、文書等でこちらから積極的に情報の共有を行うことができている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携の仕組みはあるが、助言を受ける機会は少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	月に一回の子ども食堂では、利用していた地域の他児の参加や、ふれあい館講座にて他事業所との交流がある。	他事業所と連携した活動は少なく、今後地域内での活動への参加など検討が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会等への参加機会は少なく、今後の検討が必要である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎時に情報共有を行い、必要に応じて共通した対応をお願いしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		療育参観や親子活動の際にかかわりについて助言を行うことはあるものの、研修の機会は設けることができていない。来年度、実施を検討する。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		面談や連絡アプリを通して必要な情報を共有することができている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもたちの希望を踏まえた活動を取り入れたり、送迎や面談時に聞き取りを行った保護者からの希望を踏まえた支援を行うことができている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時には支援の内容を踏まえた説明を行っており、必要に応じて質問等に対応しながら同意を得ることができている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの希望がある際には面談の場を設定し、必要に応じて助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			今年度は、保護者会に加え、親子活動や療育参観を開催し保護者同士の交流を図ってきたが、参加者が少ない状況である。内容や、開催の頻度について検討が必要である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からご意見をいただいた際には、面談の場を設定するなど迅速に対応し、全職員に共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		活動の様子はインスタグラムなどのSNSやホームページで公開されている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報公開等で写真を使用する際には個人名や学校名が分かるものを伏せるなど、編集を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児童や保護者と関わる際には個人によって適した関わり方や伝え方が意識されている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人全体で運営するイベントを開催し、地域住民が参加する機会を設けている。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは全職員に共有されており、必要な訓練が実施されている。また、マニュアルはいつでも閲覧できるよう、玄関に据え置きされている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な避難訓練が行われており、全職員に非常時の対応が周知されている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		毎朝のアプリの入力で服薬の確認を行っている。また、持病等の重要な留意事項がある際には、事前に職員に周知されている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		該当児童なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画はマニュアル化されて周知されており、年間通して必要な研修と実技訓練が取り入れられている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時に、迅速に保護者と連絡が取れるような仕組みが設けられている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書の作成と職員への周知が徹底されており、再発防止の取り組みを迅速に取ることができている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修が実施されており、適切な対応について職員間で共有する機会が設けられている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		該当児童はいないが、身体拘束を行う際の基準やその際の対応について検討されたものをマニュアル化しており、やむを得ない際には必ず保護者に適切な説明を行うように仕組みが作られている。	